

気を付けるべき症状

以下のような症状があらわれた場合は、副作用のおそれがありますので、できるだけ早く処方医へご相談ください。



頭痛、嘔吐、
目のかすみ

からだのだるく疲れやすい、
食欲がない、白目や肌が
黄色っぽくなる、吐き気



関節の痛み、骨の痛み、
関節が動かしにくい、
関節を動かせる範囲が
狭くなった

高熱（38℃以上）、眼の充血、
皮膚の広い範囲が赤くなり痛む、
全身に赤い斑点と破れやすい水疱ができる

処方医・薬剤師の連絡先

 太陽ファルマ株式会社

 TAIYO Pharma

チガソン[®]を 服用される患者さんへ



チガソンはビタミンAと似た化学構造を持つ薬で、皮膚や口腔粘膜の異常に固くなった部分(角化)をはがしやすくし、正常な表皮や粘膜を再形成して治療する薬です。

●このお薬の注意点●

もし、以下に該当する場合、
処方医や薬剤師に申し出てください

- 妊娠中である
- 近い将来に妊娠を希望している
- 過去にチガソンで副作用が起こったことがある
- 肝臓が悪い
- 腎臓が悪い
- 糖尿病
- 高中性脂肪血症と言われたことがある
- サプリメントを服用中（特にビタミンAを含むもの）
- アルコールを良く飲む

服用してから数日～数週間以内に
出やすい副作用

チガソンは皮膚や粘膜をはがし易くして治すため、正常な部位に作用すると以下の様な症状があらわれ、一時的に悪化した様に見えます。

皮膚や口や鼻の粘膜が

- 乾燥する
- 荒れる
- フケが増える
- 薄くなる
- かゆい

皮膚が薄く、出血しやすいので、掻かないでください。
薬で緩和できますので、処方医へご相談ください。

脱毛について

毛が抜けることがあります。

検査について

あなたの健康を守るため、定期的に血液検査やX線検査等を行う必要があります。処方医の指示に従って受診してください。

避妊のお願い



女性の方へ

チガソンには、催奇形性(胎児に奇形を引き起こす性質)があります。奇形の発生を避けるため、妊娠の可能性のある女性の方は、以下の点をお守りください。

▶服用開始前や服用再開前

妊娠していないことを確認してください。

▶服用中、服用を中止してから2年間

妊娠を避けてください。

男性の方へ

チガソンが精子の形成を障害するとの報告があります。

▶服用中、服用を中止してから6か月間

避妊してください。

避妊法について

避妊法には、経口避妊薬、子宮内避妊器具、コンドーム等があります。より確実な避妊のため、複数の避妊法を併用する方が良いと考えられます。
万一妊娠した可能性があると考えられた場合は、できるだけ早く産婦人科医の診断を受け、チガソンを服用の旨を申し出てください。

妊娠と薬についての相談窓口

妊娠中の方、近い将来に妊娠を希望する方の薬について、**妊娠と薬情報センター**に相談することができます。
<http://www.ncchd.go.jp/kusuri/>

食事に関する注意

○ビタミンAについて

ビタミンAを含むサプリメント等と併用すると、ビタミンA過剰症(頭痛、嘔吐、目のかすみ等)があらわれることがあるため、処方医・薬剤師にご相談ください。

また、他の医師にかかったり、薬局などで他の薬を購入したりする場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師や薬剤師に伝えてください。

○牛乳や脂っこい食事について

チガソンを牛乳で服用したり、脂っこい食事の後に服用したりすると、体内に吸収されるチガソンの量が増加します。チガソンの吸収量を一定にするため、水またはぬるま湯で服用してください。
また、ダイエット等で食生活を変える際は、処方医へお知らせください。



○飲み忘れた場合

飲み忘れた場合は、次に服用するカプセルの数を増やさないでください。

人にあげないでください

チガソンは副作用の多い薬です。たとえ症状が似ているとしても、他の人にあげないでください。また、他の薬と取り違え無いよう、子どもの手の届かない場所に、他の薬と分けて保管してください。

献血に関する注意

チガソンは副作用が多い薬剤で、催奇形性もあるため、服用中および服用中止から少なくとも2年間は献血を行わないでください。

